

〔工学部応用物理教室〕

庄 司 研 究 室

この研究室は2年まえ、共通講座「応用力学」として発足しました。応用物理学科に仮所属しています。私（庄司）は長らく、あまり知られていない学校海技大学校に居ましたが、2年まえに、こちらに転任してきました。研究分野はイジングスピソ系、ハイゼンベルグスピソ系、枝分れ高分子の統計理論などです。この4月より九大の池田和義氏を助教授に迎え、陣容を強化しました。池田氏は御存知のように凝縮理論の権威で、クラスター積分に適当な仮定をすることによつて、どこまで凝縮現象を追いつめてゆくことができるかということに精力的な研究を展開しています。助手には、このたび、阪大理学研究科修士課程を出た一柳正和君が来任しました。

彼は西山研究室出身で、電子気体における不純物効果を研究しています。

大学院D.C.には「鎌倉史郎」君と「西島国介」君が一年目にいます。どちら九大理学研究科の修士課程を経て来ました。修士論文はそれぞれ、「Isothermal isobaric ensemble における凝縮理論」および「非平衡系の統計力学」です。以上がこの研究室のスタッフですが、統計力学、物性論の基礎から応用まで、いろいろの問題をとりあげてゆきたいと思つています。なお修士一年はまだ所属がきまらず、来年一月まで各研究室をまわることになつています。いま3名まわつてきていますが、これらには基礎的な勉強をさせています。

（庄 司 記）

吉 永 研 究 室

研究室には遠赤外分光研究のグループとレーザー研究のグループがある。

遠赤外分光のグループ

吉永， 三石， 井上， 阪井， 真鍋